

3 年 間 保 存

特定自主検査記録表

- ① 装着する機械（ベースマシン）の記録表は、様式SR-EHC等を使用すること。
② 検査済機械（ベースマシン）に装着して検査をする場合は、その情報を記入すること。

メーカー名 古河	管理 No. YL-077	(検査済装着機械) メーカー名 マンズ-	使用者住所 中城村字久場1991番地
型式 Fx45	型式 V1045-6	氏名又は名称 町田機工株式会社	
製造番号 0230807166	製造番号 AF765	機械管理者氏名 町田宗才	
性能 175 kg	検査年月 R6年6月	検査業者登録No. 第17号	
検査実施場所 那覇	検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名 沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株) 又吉 隆	責任者	
検査年月日 R7年1月22日	検査者氏名 手川 善之		

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容	区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容
ブレーカ本体	1	ブレーカ上	封入ガス圧力、ガス漏れ、接続部緩み（空圧式）、取付	目視、石けん水圧力計	✓		ブラケット等	11	ブラケット	亀裂、変形、摩耗	目視	✓	
	2	シリンダー	油漏れ、ピン穴き裂、ブラケットはめ合い部摩耗、取付	目視	✓			12	取付けピン、ブシュ	亀裂、変形、摩耗、ピンシール損傷、取付	目視	✓	
	3	ブレーカ下	亀裂、損傷、摩耗、取付、チゼルシール部ブシュ摩耗、油漏れ、給脂	目視、スケール	✓			13	緩衝材	亀裂、摩耗、劣化、取付	目視	✓	
	4	アキュムレーター	打撃の異常（ホース振れ、むら打ち、異音）、油漏れ	目視、操作、聴診	✓		油圧装置	14	フィルターエレメント、ケース	*汚れ・目詰まり・損傷、油汚れ、取付	目視	✓	
	5	チゼル保持ピン	亀裂、変形、摩耗	目視、スケール	✓			15	配管（ホース類、高圧パイプ）	亀裂、損傷、老化、ひび割れ、ねじれ、油漏れ、取付	目視	✓	
	6	チゼル保持ピン用抜止めピン	亀裂、変形、摩耗	目視、スケール	✓			16	リリーフバルブ	作動、油漏れ、取付	目視、操作	✓	
	7	チゼル	亀裂、変形、摩耗	目視	✓			17	アキュムレーター	打撃の異常（ホース振れ、むら打ち、異音）、ガス封入圧	目視、操作、聴診、圧力計	✓	
空圧装置（空圧式）	8	エアホース	損傷、ひび割れ、劣化、緩み、エア漏れ、クランプ	目視、聴診	✓		表示	18	表示板	損傷、取付	目視	✓	
	9	操作弁、ラインオイル	作動、油量、汚れ	目視、操作	✓		操作	19	操作レバー等	ストローク、がた	目視、操作	✓	
	10						安全車体	20	飛来物防護設備	亀裂、変形、腐食、取付	目視、探傷器	✓	
								21					
							総合	22	総合テスト	作動、異常振動、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診	✓	

事業要請への等

次回特定自主検査実施年月 R8年1月

7.47 点 脂を お願い します。

補修等の措置内容			
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補修実施内容

備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、又異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容の項目に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。又補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。	記号	交換	分解交換	修理	調整	締付	清掃	給油水	該当なし
		×	⊗	△	A	T	C	L	—	

油圧ショベル(クローラ式)

特定自主検査記録表

3 年 間 保 存

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出
の抑制を図るための指針に基づく検査共用証明書
発行日 6 年 8 月 4 日 機式SR-EHC-01-E証明書
発行No. 6-131 機章
No. 1032628

メーカー名	ヤンマー	管理 No.	YT-227	使用者住所 氏名又は名称	中城村字久場1991番地 町田機工株式会社
型式	V1045-6A	稼働 時間	874 h	機械管理者氏名	町田宗才
製造 番号	AF765	性能	0.14m ³	検査業者登録番号	第 1 7 号
検査 実施場所	足布	検査業者又は事業者 住所・名称	沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株)	検査業者 氏名	又吉 隆
検査 年月日	R6 年 6 月 29 日	検査者 氏名	又吉 隆	責任者名	又吉 隆

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容
エンジン	1	本体	a *始動性 かかり具合、異音、予熱機・ヒーターの作動 b *回転の状態 アクセルの作動、回転具合 c *排気の状態 アイドリング回転(940 min ⁻¹)、無負荷最高回転(2200 min ⁻¹) d *エアクリナー 排気色、排気管、排気管・マフラー等のガス漏れ e *締付け ケースの亀裂・変形・緩み、エレメントの汚れ・損傷、油量 f *弁すき間 シリンダーヘッド、マニホールドの取付 g *圧縮圧力 弁すき間(吸最大 mm・最小 mm)(排最大 mm・最小 mm) h *噴射圧力 トルクレンチ i *噴霧状態 シックネスゲージ j *過給器 圧縮圧力計 k *エンジンマウント ノズルテスター 目視、ノズルテスター	目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 目視、聴診 目視、聴診 目視、聴診 目視、聴診 目視、聴診 目視、聴診 目視、聴診 目視、聴診 目視、聴診	✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓	
	2	*潤滑装置	油量、汚れ、油漏れ、*エレメントの汚れ・損傷	目視	✓	
	3	*燃料装置	燃料漏れ、ホースの損傷・老化、*エレメントの汚れ・目詰まり	目視	✓	
	4	*冷却装置	水量、汚れ、水漏れ、目詰まり、ホース損傷・老化、ラジエーターキャップ機能・損傷、ベルト(たわみ、摩耗、損傷)、ファン・カバー・ダクト等の亀裂・損傷・変形・取付	目視、聴診、スケール	✓	
	5	*電気装置	充電装置機能、バッテリー液量・端子緩み・腐食、配線緩み・損傷	目視、聴診、電流電圧計	✓	
	6	エアコンプレッサー	異音、異常振動、エア漏れ、油漏れ、タンク内凝水、作動	目視、操作、聴診、圧力計	✓	
	7					
	8	起動輪、遊動輪	亀裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、聴診、触診、探傷器	✓	
	9	上部ローラー、下部ローラー	亀裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、聴診、触診、探傷器	✓	
	10	履 帯	シュール・亀裂・変形・摩耗、取付、リベット・ブッシュ・亀裂・摩耗、ピン・ピン抜け、ピン抜け、ピン抜け(欠け・老化・摩耗)	目視、スケール、探傷器	✓	
	11	ゴム履帯	スチールコード切断・損傷、ゴム(欠け・老化・摩耗)、心金脱落、たわみ	目視、スケール	✓	
	12	履帯調整装置	作動、調整ボルト・ナット・ロッド・ヨークの亀裂・変形、腐食・摩耗、シリンダー・油漏れ	目視、操作、探傷器	✓	
	13	走行減速機	異音、異常発熱、ケース亀裂・損傷、取付、油量、汚れ、油漏れ	目視、聴診、触診	✓	
制動	15	駐車ブレーキ	効き	目視、操作	✓	
	16					
作業装置	17	ブーム、アーム、バケット、リンク	亀裂、変形、摩耗、かた、取付、ピン・シール損傷	目視、操作、ノギス、探傷器	✓	
	18	ツース	脱落、かた、摩耗	目視、触診	✓	
	19	ブレード	亀裂、変形、摩耗、かた、取付	目視、操作、探傷器	✓	
	20	フック	変形、摩耗、亀裂、外れ止め機能・損傷	目視、操作、ノギス	✓	
油圧装置	22	作動油タンク	*油量・汚れ・油漏れ、エア漏れ、ブリーザ目詰まり、取付	目視、石けん水	✓	
	23	フィルター	*汚れ・目詰まり、油漏れ	目視、触診	✓	
	24	配管(ホース類、高圧パイプ)	亀裂、損傷・老化、ひび割れ、ねじれ、油漏れ、取付	目視、触診	✓	
	25	油圧ポンプ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、*負荷時吐出量・吐出圧	目視、聴診、触診、デスター	✓	
	26	油圧モーター	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視、聴診、触診、デスター	✓	
	27	油圧シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、折損、亀裂、曲がり、摺り傷	目視、操作、スケール、タイマー	✓	

3 年 間 保 存

YT-227

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果		補修内容		
					良	不良			
油圧装置	28	コントロール弁 (方向、圧力、流量、逆止め、電磁弁)	作動、油漏れ、取付、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診	✓				
	29	回転継手	回転状態、油漏れ、異音		✓				
	30	オイルクーラー	冷却効果、目詰まり、変形、損傷、油漏れ モーターの異常振動・異音・異常発熱	目視、聴診、触診	✓				
操作	32	操作レバー	ストローク、がた	目視、操作、スケール	✓				
	33								
安全装置・車体関係等	34	下部架台フレーム、ブラケット	亀裂、変形、しゅう動部摩耗、取付	目視、スケール、探傷器	✓				
	35	旋回フレーム、ブラケット	亀裂、変形、取付	目視	✓				
	36	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛かり、異音、*ギヤ亀裂・摩耗、取付、シール損傷	目視、操作、聴診、トルクレンチ	✓				
	37	旋回減速機	異音、異常発熱、油圧、汚れ、油漏れ、取付	目視、操作、聴診、触診	✓				
	38	旋回ロック	効き、亀裂、損傷、油漏れ、ホース損傷・老化	目視、操作	✓				
	39	レバーロック、ペダルロック	効き、損傷、変形		✓				
	40	キャブ、カバー	亀裂、変形、腐食、雨漏り、ドア等開閉、ロック・キー作動、ガラスのがた・損傷		✓				
	41	カウンターウエイト	取付	目視、スケール	✓				
	42	座席(調整機構、シート、シートベルト)	作動、損傷、取付	目視、操作	✓				
	43	昇降設備、滑り止め	亀裂、損傷、変形、取付	目視	✓				
	44	表示板	損傷、取付		✓				
	45	灯火装置、警音器、方向指示器 窓拭き器、デフロスター等	作動、取付、レンズ損傷、泥水	目視、操作	✓				
	46	計器類	作動	目視	✓				
	47	後写鏡、反射鏡、カメラ	汚れ、損傷、写影、取付		✓				
48	給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	目視、操作		✓				
49									
総合	50	総合テスト	作動、異常振動、異音、異常発熱	操作、聴診、触診	✓				
排ガス装置	51	**一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、 排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンチ等	✓				
事業者への等	次回特定自主検査実施年月 <u>27年6月</u>								
	<u>7/15迄整備をお願いします。</u>								
補修等の措置内容									
照合No.	補修箇所及び不具合状況		補修年月日	補修実施内容					
備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. ★印は「安衛法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は同指針のみの検査項目である。								
	記号	交換	分解交換	修理	調整	締付	清掃	給油水	該当なし
		×	⊗	△	A	T	C	L	—